

イノベーション

基本的な考え方

研究開発におけるCTOビジョン

“オリンパスは、成長志向と価値創造型のイノベーションを原動力に、高度な技術を活用した低侵襲医療分野で世界のリーダーを目指します。”



サヤード・ナヴィード

執行役 チーフテクノロジーオフィサー
(最高技術責任者)

CTOビジョンの主要な柱

グローバルな卓越性	コア技術分野における卓越したケイパビリティを備えた世界トップクラスの組織の確立
先端技術	先進的なAI、ソフトウェア主体のアーキテクチャ、およびデジタルエコシステムを進化させ、次世代の低侵襲医療ソリューションを推進
価値あるイノベーション	事業部門と医療従事者との連携を強化し、患者さんの安全と品質を第一に考え、インパクトのあるソリューションを市場に提供
成長マインドセット	ヘルスケア業界で常に一步先を行くため、好奇心、継続的な学習体系、適応力を醸成

ビジョン達成のためのミッション

- 変革的なイノベーションの推進
- 新製品開発とサステイニング業務*1の実行力を強化し、製品の市場投入を加速するとともに、リソースの最適化を図る
- 生産性とスピードの向上
- グローバルなR&D拠点の最適化
- 重要なケイパビリティの強化とリスクリング
- 健やかな組織文化の醸成

*1 既存製品における品質の維持と向上に関する業務

研究開発戦略

患者さん・顧客視点に立ったイノベーション

患者さん・顧客視点に立った「効率的で高い効果を発揮するイノベーション活動」を促進します。

新たに導入されたイノベーションプロセスとガバナンスは、バイオデザインの基本原則に基づいて設計されています。

効率的で優れた研究開発組織

グローバルな経営資源を最大限に活用し、能力と適応力を強化することで、プロジェクトをより効率的かつ確実に実行します。

戦略パートナーシップ

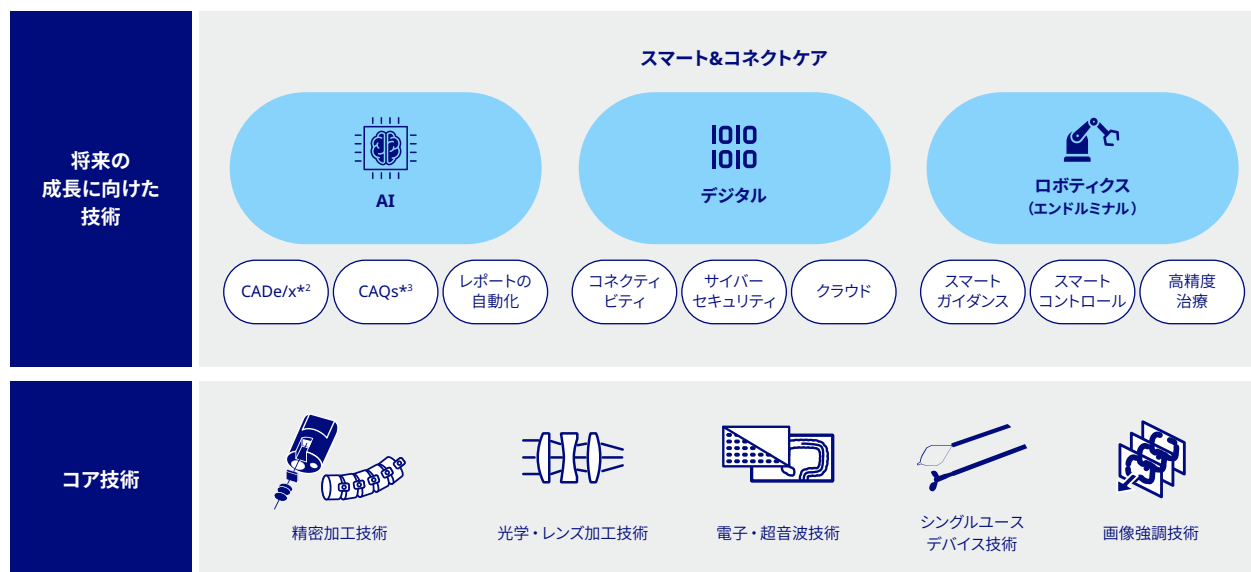
医療ロボティクスとデジタル技術がもたらす可能性を活かすため、新たな組織として「スマートコネクテッドケア」が設立されました。

ジョイントベンチャーやアーリーステージ投資、M&A、共創による戦略パートナーシップを積極的に推進します。

適切な投資

長期的成長の実現に向け、次世代製品の開発と長期的なイノベーションへの投資バランスを戦略的に図っていきます。

オリンパスの技術



*2 CADe: AIによる検出支援、CADx: AIによる診断支援

*3 AIによる手技品質向上の支援

スマート&コネクテケアに向けた進捗

当社は、長年にわたり培ってきた内視鏡技術に、デジタル技術および人工知能（AI）を融合させることで、医療現場における新たな価値の創出を目指しています。以下で、新しいソリューションの提供に向けた取り組みの進捗をご紹介します。

OLYSENSE

OLYSENSE P.35

上部および下部消化管の病変の検出、鑑別、解析を支援するCAD/AIソフトウェアアプリケーション*1の認可・認証を取得*2し、OLYSENSE*3の立ち上げに向けた最初の重要なマイルストーンを達成しました。

世界初のクラウド内視鏡システムを実現

オリンパスが長年培ってきた高度な内視鏡技術に、NTTが有する高速低遅延のネットワーク技術「IOWN APN技術」を組み合わせ、内視鏡装置内で実行されている映像処理を遠隔地に設置されたクラウドサーバー上でリアルタイムで実現することを目指す、オリンパスの内視鏡ビジネスの将来を見据えたイノベティブな取り組みです。これにより、より短いサイクルでの最新機能の提供、複数の病院間での映像情報の共有によるリアルタイムでの遠隔診断や治療の実現など、新たな顧客価値の提供が期待されます。



APNを介した約150kmにわたる長距離実証実験結果

当社初のクラウド型の病院向けデータ分析ソリューション

内視鏡検査では、内視鏡で観察した体内の画像や検査情報を患者さんごとに記録します。また、医師が病変のある部位や大きさ、診断情報など多くのデータを蓄積し、医学的な研究や学会発表資料に活用しています。

「Health Cloud for Clinical」は、内視鏡検査で発生するさまざまな情報を記録し、データ管理を実現するシステムです。内視鏡装置に記録されている検査時の操作ログ（撮影時刻や機能利用状況）を簡単に集計し、グラフ化します。病院向けのクラウドベースのデータ分析ソリューションであり、効率的な業務支援を実現します。



さまざまな内視鏡データ（治療回数や悪性疾患の診断数など）を統合し、可視化してフィードバックを提供

戦略パートナーシップ

ソニー・オリンパス メディカル ソリューションズ（株）	ソニー（株）との合併会社として設立
キヤノンメディカル システムズ（株）	超音波内視鏡システムにおける協業を発表
NTT（株）	クラウド内視鏡システムに関する共同実証実験開始を発表
HCL テクノロジーズ社	インド・ハイデラバードに「オフショア・ディベロップメント・センター（ODC）」を設立
スワン・ エンドサージカル社	エンドルミナルロボットの開発に向け、合併会社へ出資

① 協業による新製品



外科内視鏡
外科手術用内視鏡システム
「VISERA ELITE III」



消化器内視鏡
超音波診断装置
「Aplio i800 EUS」

*1 医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

*2 米国では、CADDIEは大腸ポリープが疑われる病変の検出を支援する目的でのみ認可されています。CADDIEには、CADDIEのポリープ検出機能がオンであり、使用中であることをユーザーが確認するための便利な機能として、「盲腸到達通知」AI機能が搭載されています。欧州では、CADDIEは「盲腸到達通知」AI機能および「粘膜洗浄度」AI機能を含む、大腸ポリープが疑われる病変の検出および診断を支援する機能が承認されています

*3 OLYSENSEはオリンパス株式会社および／またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します